

◎ 【国語部門】

1 行事及び内容

(1)研究委員会

①第一回研究委員会：6月8日（木）

- ・事業計画
- ・文集「あまくさ」第51集の編集方針と募集要項の検討
- ・研究発表会の検討

②第二回研究委員会：10月3日（火）

- ・研究発表会の開催要項
- ・指導案の検討

③第一回文集「あまくさ」編集委員会：12月26日（火）

- ・編集までの日程と審査基準の確認および審査 ※学校図書館教育部門と合同

④第二回文集「あまくさ」編集委員会：1月5日（金）

- ・審査反省および入賞者名簿の作成

⑤第三回文集「あまくさ」編集委員会：1月22日（月）

- ・第五十一集の校正と編集の反省

⑥第三回研究委員会：2月15日（木）

- ・国語部門年間反省
- ・次年度へ向けて

～その他の活動～

※研究発表事前検討会：8月28日（月）

※小学校県文集「ゆめ」審査会：10月13日（金）

(2)本年度の研究発表会について

研究テーマを「生きて働く言葉の担い手が育つ国語科授業の創造」と設定し、10月31日（火）に天草市立亀川小学校で以下の内容で研究発表会を実施した。

（参加者：小学校 32名 中学校 20名）

授業 「じどうしゃくらべ」（小学1年）

授業者：亀川小 平野理恵 教諭

指導助言・講話

講師：佐賀大学文化教育学部 達富洋二 教授

2 成果と課題

本年度は、部門別研修が今の形態になって2回目の研究発表会を実施した。過去2年間の研究を参考にしながら、研究の方向性や実施内容を決めていった。第1回及び第2回の研究委員会だけでは時間が不十分で、夏休み期間に事前検討会を開催して対応した。研究発表会には50名以上の先生方に参加していただいた。今回は小学1年生の授業を中学校の先生方にも見ていただき、義務教育9年間を見通した国語科学習の在り方について検討することができた。達富洋二教授による講話は先生方のニーズに合ったもので、参加者からおおむね満足いく研修会であったとの評価をいただいた。

文集「あまくさ」第51集は学校図書館部門との合同審査を経て無事発行することができた。昨年度同様、国語部門所属の多くの先生方に協力していただいたが、今年度は応募数が例年より多かったこともあり、小学部会にとって審査時間が十分ではなかった。来年度は、小学部会の審査会を午前中から行うことを検討したい。